

指定管理者制度導入施設モニタリングシート総括表（令和4（2022）年度実績）

【Ⅰ～Ⅲ評価基準について】

【項目評価基準】 5：優良 4：良 3：普通 2：やや劣る 1：劣る

【総括評価基準】

- S：全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。（項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの）
- A：全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。（項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの）
- B：全ての項目が協定等で定めた水準である。（項目別評価全てが3点）
- C：概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。（項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの）
- D：早急に改善が必要な事項がある。（項目別評価の一つでも1点があるもの）

No	ページ	施設名称	指定管理事業者名	所管課	Ⅰ サービス水準				Ⅱ 収支等					Ⅲ 実施体制		特筆すべき点		
					利用状況(人)			評価ポイント等	評価	R4指定管理料(千円)	収支差額(千円)		黒字比率	評価ポイント等	評価		評価ポイント等	評価
					R4	R3	前年度比				R4	R3						
1	1	田島活性化施設	田島町内会	農林水産課	2,132	1,790	119%	利用者の増加、施設の適正管理	3.13	A	0	0	0	0.0%		3.00	B	利用者のことを考えた上で、利用環境を整えている。今後も、適切な管理運営を行う必要がある。
2~27	5	コミュニティセンター(26施設)	各地区・地域のコミュニティ振興協議会	市民活動支援課	234,227	220,653	106%	利用者の増加、今後は感染対策を行いながら事業展開が必要。	3.14	A	0	36,060	36,281	-	収入は、会費、補助金、使用料等。	3.00	B	引き続き新型コロナウイルス感染症による施設利用制限があったものの、感染症対策の徹底、取組みの工夫などが行われた。経費削減を図りながら健全な財政処理、工夫を凝らした事業展開を図っていただきたい。
28	9	文化会館アルフォーレ	かしわざき振興財団・新潟照明技研共同事業体	文化・生涯学習課	111,271	84,120	132%	寒波に起因する設備トラブルの発生について、事前対策に不十分な点があった。	2.94	C	148,506	6,627	△ 63	3.7%	経費削減に努め、行動制限の緩和から利用者が増加し、経営状態は良好。	3.40	A	市のコロナ対策への協力体制に積極的に取り組んでいる。市民の幅広い層に受け入れられる催事を企画する必要がある。
29	16	家族旅行村(じよんのび村)	(株)じよんのび村協会	商業観光課	98,605	64,218	154%	年度当初の計画に留まらず、これまでにない意欲的な事業・企画に取り組んでいる。営業戦略については、他の施設の模範となる。	3.13	S	8,060	△ 5,376	△ 25,410	-2.8%	原価管理と各種契約の見直しにより、支出を削減。過去7年間で最少赤字となった。	3.20	C	新体制移行後1年半が経過し、これまでの意欲的な取組みが数字に表れてきている。各種PR、コラボレーション企画、営業戦略、財務確保に尽力した事業展開は、他の施設の模範となる。令和6(2024)年3月の黒字化に向けて、引き続き経営改善を進めてほしい。
30	20	ふるさと体験村(門出)	(一社)門出ふるさと村組合	地域事務所	716	438	163%	アンケート結果からも、サービスに対する評価が良いことが伺える。	3.13	A	0	28	△ 345	0.5%	利用者を前年度より増加させ収支を黒字化した。	3.20	A	リピーターへの周知により利用者を回復させた。また、茅葺屋根に必要な資材確保に努めた。利用者数のさらなる回復、立地環境をいかしたプログラム等を実施し新規顧客の獲得につなげてほしい。
31	24	柏崎さけのふるさと公園	青海川町内会	農林水産課	5,995	4,664	129%	修繕未完了な箇所あり。	2.94	C	3,484	156	5	4.0%	人件費や光熱水費を中心に節約している。	3.20	A	イベントや学習の受け入れ体制を徐々にコロナ禍前の状況に戻していけるよう努めている。また、事務の効率化を図ることで人件費を削減した。生物の生存に係る重大な不具合は早急に報告してほしい。また、施設の不具合は、費用対効果や優先順位を考え、随時対応していく必要がある。
32	28	コレクション展示館第1展示館(痴奴の家)	(公財)かしわざき振興財団	商業観光課	781	982	80%	ぐるっとミュージアム利用者の減少。	2.93	D	6,412	63	△ 274	0.9%		3.00	B	長年の課題であった、後継者育成・配置を実施し安定的な運営体制を確保。新たな企画や情報発信を進め、利用者増加につなげてほしい。
33	32	コレクション展示館第2展示館(黒船館)	(一財)黒船館	商業観光課	538	763	71%	ぐるっとミュージアム利用者の減少。	2.87	D	2,566	85	△ 21	2.3%	3年連続で概ね収支は均衡している。	3.20	A	博物館・書籍・教科書等、資料の貸出先が複数あるため、歴史的価値の高い、魅力あるコンテンツを有しているものと考えられる。資料の貸出をきっかけに、施設や展示品の価値の再認識につなげ、来館者増加につなげてほしい。
34	36	コレクション展示館第3展示館(同一庵藍民芸館)	(一財)同一庵藍民芸館	商業観光課	1,601	1,595	100%	2年連続で利用者数が前年度実績及び目標値を上回る。	3.07	A	2,588	376	204	9.8%	令和元(2019)年度の赤字決算から立て直し、3年連続の黒字を達成できた。	3.20	A	目標以上の来館者数を達成している。企画展の集客ノウハウを他の2館とも共有し、3館全体での利用促進を目指してほしい。
35	40	ふるさと体験村(荻ノ島)	(同)荻ノ島ふるさと村組合	地域事務所	1,164	411	283%	未使用であった島の楽家でカフェをオープンし利用者数の増加につなげた。	3.11	S	0	82	△ 740	3.3%	新型コロナ感染症対策の中、黒字化した。	3.17	A	新潟ガストロノミアワード「旅館・ホテル30」に入賞するなど、利用者からの満足度評価できる。業務分担を明確にし、業務体制の強化とスタッフの資質向上に努め、ビジネス化への取組みを進めてほしい。
36	44	柏崎海洋センター(シーユース雷音)	(公財)かしわざき振興財団	商業観光課	19,932	4,011	497%	前年度は休館期間が多く、比較対象に適さないため、利用者数は評価対象外とする。	3.00	B	13,235	△ 5,521	△ 9,847	-5.7%	休館日の調整や経費の削減に努めていたが、大きな赤字決算となった。	2.83	C	海に関する団体と連携して観光振興に努めたことは評価できる。この繋がりを活用し、連携した企画などの検討を進めてほしい。新たな生活様式の中で、利用者拡大に向けて、コロナ禍前の水準に達することができるよう努めてほしい。
37	48	大崎温泉雪割草の湯	(公財)かしわざき振興財団	商業観光課	36,440	31,777	115%	展示コーナーの設置や新メニューの開発など、独自のコンセプトにより誘客を図った。	3.18	A	5,588	△ 3,936	△ 1,912	-11.1%	入館者数が増えているものの、収支のマイナスが昨年度より広がっている。	2.60	D	独自性のあるコンセプトで、利用者にとって魅力ある企画を行っている。昭和レトロの展示コーナー設置やこれに関連したメニューの開発など誘客の工夫が感じられる。コスト管理を徹底し、収支の改善に努めてほしい。
38	52	西山自然体験交流施設(ゆうぎ)	株式会社アール・ケー・イー	商業観光課	7,723	7,450	104%	年次的な修繕を直営で行い、施設管理や環境整備に積極的に取り組んでいる。	3.07	A	8,658	△ 32	△ 366	-0.2%		3.00	B	地域連携による新たな企画として「西山町の自然」写真コンテストを実施し、地域活性化に努めた。ホームページの充実やインターネット予約など利用者の利便性を高める工夫が必要である。
39~53	56	体育施設(15施設)	(公財)かしわざき振興財団	スポーツ振興課	471,072	400,249	118%	感染症の感染予防対策を講じて各施設、集客イベントや各種大会を開催していた。	3.17	A	378,131	△ 5,645	△ 14,111	-1.1%		3.00	B	各施設内での陽性者が確認されたときは速やかに報告を受け、その後の状況確認も迅速だった。
54	60	ワークプラザ柏崎	(公社)柏崎市シルバー人材センター	商業観光課	56,131	51,423	109%	多目的ホールが改修工事に伴い6か月間閉鎖したが、利用者数は前年度比9%増となり、利用促進が図られた。	3.40	A	16,506	△ 376	345	-1.6%		3.00	B	夜中に災害が発生した際にも、市と連携を図り、直ちに応急措置を講じ、速やかに復旧作業を実施。コロナウイルス感染症の影響により入場者数の減少が続く中、市の窓口業務を受託する等、財源の確保に努めつつ、新規事業を立ち上げ新たな顧客創出に取り組む姿勢が評価できる。安定感のある事業展開はマンネリ化を招いている面もあり、市民ニーズを捉えて新たな事業展開を行うことで、利用者の若返りを図ることが必要である。
55	64	産業文化会館	(公財)かしわざき振興財団	文化・生涯学習課	49,686	36,169	137%	感染症対策を行いつつ、新規事業を立ち上げ入場者数の増加を図っている。	3.35	A	56,102	2,520	1,784	3.3%	利用が増えたことによる収入増と人員調整及びこまめな節約の結果、収支は黒字となっている。	3.40	A	ガイドラインに沿った人員配置及び報告がなされており、適正な管理運営がなされている。また関連団体とも緊密に連携している。
56	70	新潟県立こども自然王国	株式会社計画研究所	子育て支援課・スポーツ振興課	95,087	71,432	133%	自主事業である「番神自然水族館事業」は、宿泊を兼ねたセットプランとすることで利用促進を図った。	3.60	S	80,542	△ 1,947	△ 1,625	-1.4%		3.00	B	7月にFAXの誤送信による個人情報漏えい事故が発生した。(市と連携し、速やかかつ適切に対応)
57	75	高齢者生活支援施設「結の里」	(福)柏崎市社会福祉協議会	介護高齢課	4,149	4,495	92%	入居者や家族からの意見に対して、迅速に対応した。利用者数は、居住部門の入居者が介護施設に移り去りが続き減少。	3.07	C	19,266	0	74	0.0%	入居者数の減少により収入減少したが、人件費支出を抑えたことで、収支の均衡を図った。	3.20	A	訓練、入居者間の関係づくり、緊急連絡体制、地域や関係機関との連携体制などに力を入れており、入居者に寄り添った丁寧な対応を行っている。

指定管理者制度導入施設モニタリングシート総括表（令和4（2022）年度実績）

【I～III評価基準について】

【項目評価基準】 5：優良 4：良 3：普通 2：やや劣る 1：劣る

【総括評価基準】

- S：全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、独自の新たな取組みがなされている。（項目別評価に一つでも5点があり、2点及び1点がないもの）
- A：全ての項目が協定等で定めた水準であり、かつ、水準を上回る取組みがなされている。（項目別評価に一つでも4点があり、5点、2点及び1点がないもの）
- B：全ての項目が協定等で定めた水準である。（項目別評価全てが3点）
- C：概ね協定等で定めた水準であるが、一部改善すべき事項がある。（項目別評価の一つでも2点があり、1点がないもの）
- D：早急に改善が必要な事項がある。（項目別評価の一つでも1点があるもの）

No	ページ	施設名称	指定管理事業者名	所管課	I サービス水準				II 収支等					III 実施体制		特筆すべき点			
					利用状況(人)			評価ポイント等	評価	R4指定管理料(千円)	収支差額(千円)		黒字比率	評価ポイント等	評価		評価ポイント等	評価	
					R4	R3	前年度比				R4	R3							
58	79	高齢者用冬期共同住宅「ひだまり」	(福)柏崎市社会福祉協議会	介護高齢課	0	0	0%		3.00	B	1,009	0	△ 56	0.0%		3.20	A	降雪時の積雪状況の報告や確認については、市と連携を図り、適切な対応を行っていた。	令和4年度で指定管理期間が満了し、高齢者用冬期共同住宅ひだまりの指定管理は廃止となった。冬期の生活の場としての指定管理施設から、施設の維持管理が主な業務になったが、最後まで業務を遂行していた。
59	83	元気館障害者デイサービスセンター	(福)柏崎刈羽ミニコロニー	福祉課	6,765	6,938	98%	利用者が、介護保険移行者や、体調不良による長期欠席者により減少。	3.12	C	0	△ 1,484	4,045	-1.6%		3.00	B	退職者が出た場合には、職員配置を整え、職員研修を的確に受講し、職員体制・事業実施体制を構築	「放課後等デイサービス」として本人ニーズに対応した障害福祉サービスの提供を行っている。また、学校の下校後迎え入れから迎え時間まで、きめ細やかに対応している。自立訓練(機能訓練)は、利用者が制限されることから、課題解決に向けた検討が必要である。
60	87	総合福祉センター	(福)柏崎市社会福祉協議会	福祉課	30,434	25,176	121%	予算に限られた中で、工夫しながら修繕を実施している。	3.06	A	24,725	△ 185	△ 1,139	-0.7%	人件費、修繕料を中心とする支出経費の削減を行い、赤字幅の削減に努めた。	3.17	A		限られた予算の中での支出削減の取り組みにより、収支の改善が見られる。収支黒字化の実現と、今後必要な修繕費用及び物価高騰対応費用の確保のため、貸館収入を増やすことが特に必要である。
61	92	柏崎・夢の森公園	アール・ケー・イー・ホールアースグループ	都市計画課	94,918	90,400	105%	重点取組としていたSDGs、散歩、観光などの取組において、新たな分野の開拓を行い意欲的に事業を展開している。	3.78	S	64,416	466	309	0.5%	利用者が求めるものを早期に分析し、プログラム及びカフェの売上が過去最高収益となった。	3.20	A	関係団体及び地域との連携、担当課と密接なコミュニケーションをとりながら、安定的な公園運営に努めた。	様々な部分において、公園の魅力の向上を図るため、雪害対応及び里山の保全等での地道な努力や改善を重ねたことは高く評価できる。また、利用者の増加、プログラムやカフェにおいて、最高売上額を更新した結果となっている。今後も様々な取組を展開し、さらなる来園者の増加に期待したい。
62	97	モーリエ駐車場	柏崎商工会議所	商業観光課	80,303	75,964	106%	シャッターの点検等、当初想定されていた部分についての、保守管理業務を実施。	3.07	A	0	425	236	2.0%	これまでの支出状況を見直し新たに遠隔管理システムを導入することで支出を抑えた。	3.40	A	トラブル発生時には速やかに市へ報告し、即時対応することで被害を最小限に抑えている。	当初想定されていた部分についても確認及び保守等を実施し、施設の維持管理に努めた。アンケートを実施したところ、共通する意見が複数見受けられた。指定管理者と市でより密な協議を行う必要がある。
63	101	かしわざき市民活動センター	特定非営利法人 aisa	市民活動支援課	25,916	18,046	144%	関りが薄かった利用者層をターゲットとした事業を展開することで、新たなまちのプレイヤー創出のきっかけ作りができています。	3.05	A	28,665	1,426	1,946	4.8%	収益性が低い施設ではあるが、経費削減に取り組むとともに、施設の特性を活かした積極的な自主事業の展開により、収支を黒字化。	3.33	A		既存事業のブラッシュアップや新規事業を展開し、活動に向けたサポートに取り組んでいる。また、単なる貸館施設ではなく、スタッフのまちづくりコーディネート資質の向上、利用しやすい環境整備に努めている点は特に評価できる。まちから利用者や事業参加者の固定化という課題を解決するために、仕組みづくりを検討する必要がある。
64	106	西山ふるさと公苑	(公財)かしわざき振興財団	商業観光課	53,612	41,003	131%	感染対策を徹底した中での飲食イベントは、コロナ禍における市内での先行事例となり、地域振興に寄与した。	3.11	A	38,673	△ 933	△ 3,897	-2.1%	利用料や出店料を十分に検討し、収益の拡大も視野に入れてもらいたい。	2.83	C		コロナ禍の中でも地域振興と利用者拡大のため、感染対策を十分に取り、市内で先行して飲食イベントを行った。集客意欲を感じ、利用者の拡大に繋がっており評価できる。収支については、昨年度よりは改善されたが、引き続きマイナスとなっている。利用者数が増加していることから、出店料の徴収や魅力ある地元物産の販売など、収益の黒字化に向けて努めてほしい。